

事務事業名	里山林整備事業			担当	市民生活部 環境課 環境計画		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名		
施策名	4	自然環境の保全と保護			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 20 年度～ 37 年度）		
法令根拠	もあかの明るく安全な森づくり事業実施要綱、元気な森づくり推進市町村交付金事業実施要綱						
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費		4. 環境衛生費		
事業概要	荒廃した森林を明るく安全な里山林へと再生するため、市、地権者及び地域等管理団体の3者で協定を結び、管理団体が整備とその後の保全管理を行い、保全活動経費の一部として、市が交付金（2万円/ha）を交付するものである。 平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」により開始された事業であり、10年で交付金はなくなったが、H30より「とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業」の保全活動経費の交付金により財源は補填される。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
30年度実績 【整備】 大内東小学習林 1ha 【管理】 古山区 6.6ha 高田地区 4.1ha（高田山専修寺） 伊勢崎地区 10.0ha 東大島地区 9.5ha 長田地区 6.6ha 高間木地区 1.6ha 大久保地区 1.6ha（もあか環境P-Tアップ会議） 中村八幡宮 3.2ha 合計 43.2ha 31年度計画 管理については、30年度と同様		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 新規整備面積</td> <td>ha</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>イ 新規協定者数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ウ 管理面積</td> <td>ha</td> <td>44.5</td> <td>45.5</td> <td>45.5</td> <td>43.2</td> <td>43.2</td> </tr> <tr> <td>エ 地域等管理団体</td> <td>団体</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 新規整備面積	ha	0	1	0	0	0	イ 新規協定者数	人	0	0	0	0	0	ウ 管理面積	ha	44.5	45.5	45.5	43.2	43.2	エ 地域等管理団体	団体	8	8	8	8	8	オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 新規整備面積	ha	0	1	0	0	0																																												
イ 新規協定者数	人	0	0	0	0	0																																												
ウ 管理面積	ha	44.5	45.5	45.5	43.2	43.2																																												
エ 地域等管理団体	団体	8	8	8	8	8																																												
オ																																																		
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
市内の里山林		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 森林（山林）面積</td> <td>ha</td> <td>1,474</td> <td>1,467</td> <td>1,464</td> <td>1,460</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 森林（山林）面積	ha	1,474	1,467	1,464	1,460	1,456	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 森林（山林）面積	ha	1,474	1,467	1,464	1,460	1,456																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
荒廃した里山林を明るく安全な里山林に再生する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 整備した里山林の面積（累計）</td> <td>ha</td> <td>44.5</td> <td>45.5</td> <td>45.5</td> <td>45.5</td> <td>45.5</td> </tr> <tr> <td>イ 管理面積</td> <td>ha</td> <td>44.5</td> <td>44.5</td> <td>44.5</td> <td>43.2</td> <td>43.2</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 整備した里山林の面積（累計）	ha	44.5	45.5	45.5	45.5	45.5	イ 管理面積	ha	44.5	44.5	44.5	43.2	43.2	ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 整備した里山林の面積（累計）	ha	44.5	45.5	45.5	45.5	45.5																																												
イ 管理面積	ha	44.5	44.5	44.5	43.2	43.2																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
自然環境の保全、景観保全、市民の自然とのふれあい等の推進に結びつける。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 緑などの自然環境が良いと思う市民の割合</td> <td>%</td> <td>86.8</td> <td>87.9</td> <td>90.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 緑などの自然環境が良いと思う市民の割合	%	86.8	87.9	90.0			イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																												
ア 緑などの自然環境が良いと思う市民の割合	%	86.8	87.9	90.0																																														
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																											
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	1,852	1,986	282	2,480	2,450																																										
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																										
		その他	千円	0	0	0	0	0																																										
	一般財源	千円	0	666	0	0	0																																											
	事業費計(A)	千円	1,852	2,652	282	2,480	2,450																																											
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2																																										
		延べ業務時間	時間	1,274	1,274	1,274	1,274	1,274																																										
		人件費計(B)	千円	5,338	5,291	5,287	5,311	5,311																																										
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,190	7,943	5,569	7,791	7,761																																											

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	栃木県が平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」を導入し、それを財源とした元気な森づくり推進市町村交付金事業が開始された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく安全な里山林へと再生され、保全管理作業が定着してきている。</li> <li>・生物多様性を保全するため、多様な生物を育む里山の自然環境を保全することが重要であると認識されてきている。</li> <li>・平成28年度から、とちぎの元気な森づくり事業により整備された森林の継続的な保全管理活動の支援等を図るため、市独自の支援制度である「もあかの明るく安全な森づくり事業」を開始した。</li> </ul>
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地域住民からは、荒れていた林が明るく安全な里山林へと整備され、ごみの不法投棄も減り、共同で作業することから地域の連帯感の醸成に役立っているとの声がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 荒廃した里山林を明るく安全な森に整備することは、自然環境を保全し自然とのふれあいの場を確保するものであり、自然と潤いのある安全快適なまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 森林の有する公益的機能は、全ての市民が享受するものであり、森林の整備、保全により公益的機能を発揮するものであるから妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内の里山林が対象であり、里山林の整備、保全は、自然環境を保全するうえで重要な課題であることから適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業実施個所は、事業の目的に沿って適切に森林の保全活動が進められており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 自然環境や景観の保全、自然とのふれあい機能が失われていく。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 野生獣被害軽減のための里山林整備事業（農政課）
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 事業目的が別であり、実施方法が異なるため、他事業との統合又は連携はできない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限度の経費であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限度の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域等の管理団体が行う森林の保全活動に必要な経費の一部を交付するものであり、全ての市民が森林の公益的機能を享受するものであることから公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不十分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							